

一般社団法人群馬建築構造設計事務所協会 GSAS

「令和3年度 構造研修会」報告

令和3年12月
 GSAS 会長 山口幸治
 GSAS 会員 萩原太一

令和3年12月17日（金）、参加者計23名（会場9名、Web参加14名）にて、GSAS&JSCA 構造研修会を開催した。研修テーマを『新工法による躯体品質の確保と省力化の設計法 2021』と題し、以下の各賛助会による解説を受けた。

- ノンダイアフラム工法：ファブラックスGB
 (株)旭化成建材 東京建築資材第二営業部 穂高明日香 様
- ①合成スラブ新耐火認定 (EZ75-S、EZ50-S)
 ②サイノステッキ（等厚合成スラブ）
 日鉄建材(株) 建築技術部 商品技術室 竹田 達 様
- 地盤改良工法：ソリッドキューブ工法
 (株)本久 森永繁様、田中諒成 様
- 木材を用いた地盤補強：環境パイル工法
 兼松サステック(株) 青木 仁志 様
 （賛助会員：(株)トーテック 東京営業所 瀬戸秀吉 様）

各社開発による新工法の解説を受け、各工法の特徴を確認し。省力化可能な項目や、使用範囲および注意点など、丁寧な説明により、実務に際して参考となる有意義な研修であった。

